

米軍基地環境カルテ

嘉手納住宅地区（施設番号：FAC6038）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目次

36. 嘉手納住宅地区（施設番号：FAC6038）	1
36.1 基本情報	1
36.1.1 名称	1
36.1.2 所在地、広さ（施設面積）	1
36.1.3 施設の概要等	1
36.1.4 施設の管理及び用途	1
36.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	1
36.1.6 土地利用規制図	2
36.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	2
36.2.1 基地等の土地の状況	2
36.2.1.1 地形分類図	2
36.2.1.2 表層地質図	2
36.2.1.3 土壌図	2
36.2.1.4 切盛土分布図	2
36.2.2 基地内の施設の使用状況	2
36.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	2
36.2.2.2 施設等使用履歴	2
36.3 基地等の環境状況	3
36.3.1 自然環境（植物）	3
36.3.1.1 現存植生図	3
36.3.1.2 植生自然度図	3
36.3.1.3 特定植物群落	3
36.3.1.4 重要な種、貴重な種等	3
36.3.2 自然環境（動物）	3
36.3.2.1 重要な種、貴重な種等	3
36.3.3 水利用状況	4
36.3.3.1 水利用状況	4
36.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	5
36.3.3.3 河川及びダムの分布状況	6
36.3.4 地下水の状況	6
36.3.4.1 地下水基盤面等高線図	6
36.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	7
36.4.1 事故等の概要	7
36.4.2 事故等発生場所	7
36.5 環境調査を実施する場合の留意事項	7
36.6 その他情報	7

36.7 環境等に関する通常監視について	7
----------------------------	---

36. 嘉手納住宅地区（施設番号：FAC6038）

36.1 基本情報

36.1.1 名称

嘉手納住宅地区（施設番号：FAC6038）

36.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：読谷村字大湾、字古堅、字比謝橋

広 さ：約101,200㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照



図 36-1 嘉手納住宅地区の位置図（昭和47年時）

36.1.3 施設の概要等

昭和52年11月30日、全部返還。

36.1.4 施設の管理及び用途

昭和52年11月30日、全部返還。

36.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は古堅地区土地区画整理事業が実施され、宅地として利用されている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

36.1.6 土地利用規制図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図B」に示す。

36.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

36.2.1 基地等の土地の状況

36.2.1.1 地形分類図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図B」に示す。

36.2.1.2 表層地質図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図B」に示す。

36.2.1.3 土壌図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図B」に示す。

36.2.1.4 切盛土分布図

嘉手納住宅地区跡地の切盛土分布図は作成されていない。

36.2.2 基地内の施設の使用状況

36.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

嘉手納住宅地区の施設配置図は確認できなかった。

36.2.2.2 施設等使用履歴

年月日不明 米軍が占領の継続として使用。

年月日不明 空軍の家族住宅として使用。

昭和47年5月15日 「嘉手納住宅地区」として提供開始（使用主目的：住宅）。

昭和52年11月30日 全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和47年11月、沖縄県総務部渉外課）、
「沖縄の米軍基地」（平成50年2月、沖縄県渉外部基地渉外課）、
「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：コンセット29棟

工作物：水道施設、下水道施設、照明施設、電力施設（送電線）、消火栓及びアスファルト
舗装道路

出典：「返還軍用地の施設別概要」（昭和53年3月、沖縄県企画調整部軍用地転用対策室）より引用

36.3 基地等の環境状況

36.3.1 自然環境（植物）

36.3.1.1 現存植生図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図B」に示す。

36.3.1.2 植生自然度図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図B」に示す。

36.3.1.3 特定植物群落

嘉手納住宅地区跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

36.3.1.4 重要な種、貴重な種等

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

36.3.2 自然環境（動物）

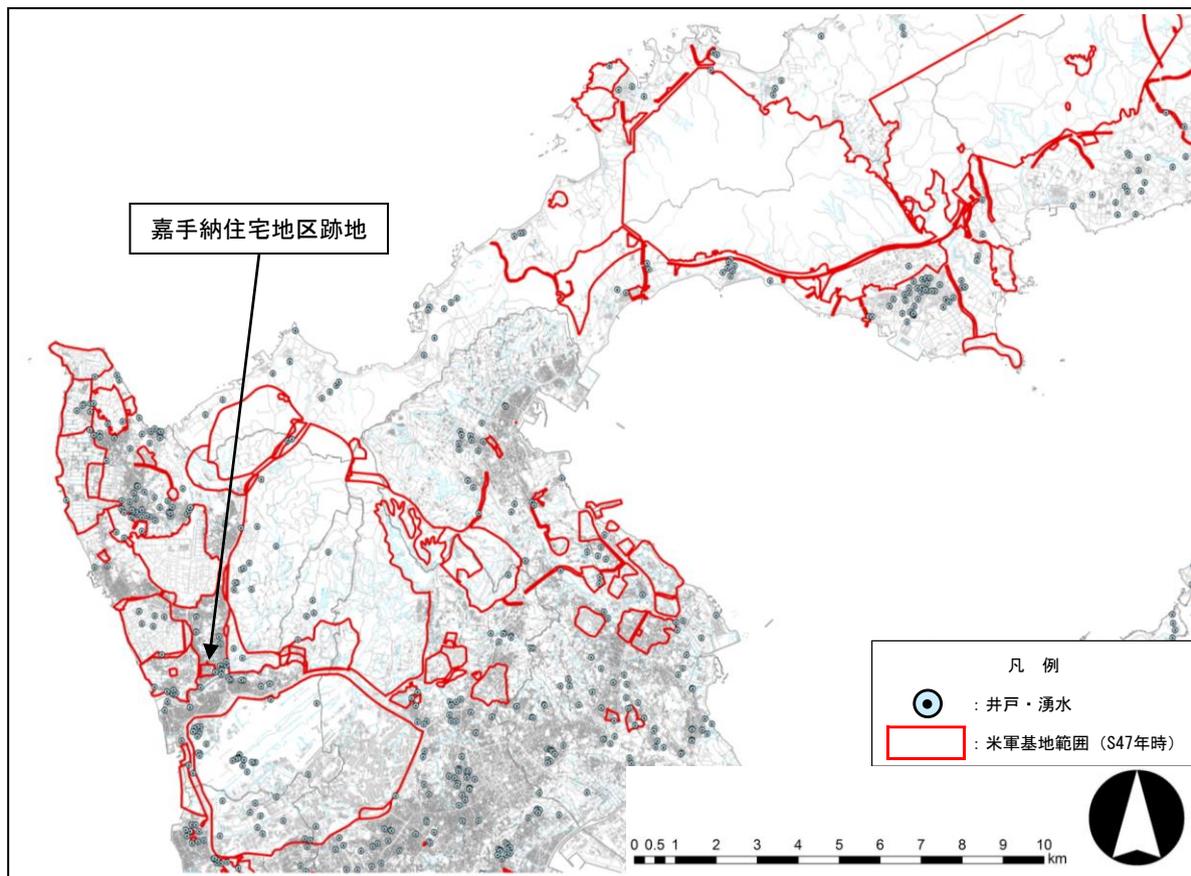
36.3.2.1 重要な種、貴重な種等

嘉手納住宅地区跡地のある読谷村で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は27種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

36.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 36-3 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、第 269 号）」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 36-3 嘉手納住宅地区跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

36.3.3.3 河川及びダムの分布状況

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の河川、ダム分布状況及びその概要を、図 36-4、表 36-1 に示す。
嘉手納住宅地区跡地及び周辺には、二級河川が 1 本ある。

なお、周辺に国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 36-4 嘉手納住宅地区跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

表 36-1 嘉手納住宅地区跡地及び周辺の二級河川の概要

比謝川水系	比謝川	指定延長：15,932m	流域面積：49.66km ²
指定区間：（左岸）沖縄市字胡屋 5 丁目 355 番 3 から海に至る （右岸）沖縄市字胡屋 5 丁目 355 番 3 から海に至る			

出典：沖縄県ホームページ「沖縄の河川資料室」

(<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kasen/kanri/okinawanokasensiryousitu.html> (平成 28 年 8 月 23 日閲覧) を参照

36.3.4 地下水の状況

36.3.4.1 地下水基盤面等高線図

嘉手納住宅地区跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図を図面集「地下水基盤面等高線図 B」に示す。

36.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

36.4.1 事故等の概要

嘉手納住宅地区及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成15年3月、沖縄県基地対策室）、
「沖縄の米軍基地」（平成20年3月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）、
「環境白書【平成24年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成25年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
「環境白書【平成26年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

36.4.2 事故等発生場所

嘉手納住宅地区及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

36.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

36.6 その他情報

特になし。

36.7 環境等に関する通常監視について

在沖米軍施設・区域に起因する環境汚染を防止するため、沖縄県では基地排水等の監視、事故時の調査を実施し、水質汚濁の状況把握に努めている。

嘉手納住宅地区におけるこれまでの調査で、基準に適合しなかった結果の概要を表36-2に示す。

表 36-2 米軍基地排水調査における基準不適合結果の概要

調査地点名	調査年月日	項目	値	基準
比謝川流入マンホール	昭和51年6月25日	BOD	265ppm	排水基準
		大腸菌群数	4.2×10^5 coli/cm ²	排水基準
		油分	43.9ppm	排水基準

◆ 一律排水基準

BOD（日最大160mg/L、日間平均120mg/L）、大腸菌群数（日間平均3,000個/cm³）、
n-ヘキサン抽出物質含有量〔油分〕（鉱油類含有量：5mg/L、動植物油脂類含有量：30mg/L）

出典：「昭和51年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和53～平成16年版 環境白書（昭和52～平成15年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成16～26年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照